



環境パフォーマンス

環境負荷の全体像

理想科学は、製品の開発・設計、生産、ならびに販売・物流から、使用済み製品の回収・リユース・リサイクルまでの環境負荷の全体像を数値で把握することに取り組んでいます。

生産活動における環境負荷を低減することと製品の使用時および廃棄時の環境負荷を低減することが重要であると認識しています。

2007年度の環境パフォーマンスの集計結果とポイント

当社の環境負荷の全体像をより明確にするため、今年度報告より2006年度分に遡って委託貨物輸送量とそのCO₂排出量を集計対象に加えました。また生産工程における主要製品の対象に生産量が増えてきた高速カラープリンターを加え、材料投入量、製

品のOUTPUT量を2006年度に遡って修正しました。

2007年度は使用済み製品の回収ならびに再資源化に努め、回収量は前年比1%の増加でしたが、再資源化を進めることで、廃棄物埋立最終処分量を前年比59%に削減しました。二酸化炭素排出量は前年比27%*減少しました。

今後もさらに環境負荷の低減に向けて活動を推進していきます。

*右頁、事業工程ごとのINPUT/OUTPUTの開発・設計、生産工程では社有車の燃料消費を集計から除外しているため、社有車の燃料消費を集計している全社環境目標のCO₂排出量売上高原単位の結果(P10)と異なります。

INPUT

	2006	2007	2006年度比(%)
エネルギーの使用量内訳			
電気使用量 (万kWh/年)	901	902	100
LPG (t/年)	56	62	111
A重油 (kℓ/年)	154	155	101
ガソリン (kℓ/年)	527	538	102
(委託貨物輸送量 万t・km)	1,321	1,305	99
水の使用量 (m ³)	41,621	40,551	97
金属 (t)	2,104	2,319	110
プラスチック (t)	1,655	1,651	100
ガラス (t)	36	39	108
紙 (t)	3,274	3,170	97
その他 (t)	4,397	4,404	100
小計	53,087	52,134	98
PRTR物質 (t)	2.8	2.6	93
回収量 (t)	2,417	2,443	101

OUTPUT

	2006	2007	2006年度比(%)
CO₂排出量 (t-CO ₂ /年)	9,097	9,070*	100
電気使用量 (t-CO ₂ /年)	5,001	5,007	100
LPG (t-CO ₂ /年)	168	186	111
A重油 (t-CO ₂ /年)	417	420	101
ガソリン (t-CO ₂ /年)	1,223	1,248	102
(委託貨物輸送量 t-CO ₂ /年)	2,288	2,209	97
排水量 (m ³)	28,236	27,360	97
蒸気放散・散水その他 (t)	9,611	8,300	86
製品*5 (t)	15,240	16,474	108
小計	53,087	52,134	98
PRTR物質の大気への排出量 (kg)	169	12	7
PRTR物質の水域への排出量 (kg)	0	0	—
PRTR物質の土壌への排出量 (kg)	3	2	67
PRTR物質の廃棄物への移動量 (kg)	18	36	200
廃棄物排出量*1 (t)	3,576	3,670	103
再生投入量*7 (t)	469	439	94
再資源化量*2 (t)	2,659	3,007	113
その他*3 (t)	206	81	39
埋立最終処分量*4 (t)	242	143	59

【集計範囲】右表の事業工程ごとのINPUT/OUTPUTを集計しています。

【集計対象】日本国内。

- ・開発・設計、生産でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量、水使用量と排水量、廃棄物排出量。
- ・生産での物質投入量、PRTR物質投入量と移動・排出量。販売での社有車のガソリン使用量とそれに伴うCO₂排出量。
- ・回収・リユース・リサイクルでの使用済み製品回収量と廃棄物排出量。

※本社ならびに営業部門でのエネルギー使用量とそれに伴うCO₂排出量は含んでいません。

●CO₂排出量の算定について

エネルギー消費量の温暖化ガス(CO₂)排出量への換算は「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第三条(平成18年3月24日改正)」に掲載されている換算係数を使用しています。

電力:0.555kgCO₂/kWh、ガソリン:2.32kgCO₂/ℓ、A重油:2.71kgCO₂/ℓ、LPG:3.00kgCO₂/kg

事業工程ごとのINPUT/OUTPUT

事業工程	INPUT				OUTPUT			
		2006	2007	2006年度比		2006	2007	2006年度比
開発・設計 【集計範囲】 開発技術センター（筑波事業所内）、 K&I開発センター（若葉事業所）、 S&A開発センター（徳米ビル内） * 但し、開発技術センターの水使用量、 排水量は単独での数値把握ができていないため下記の生産（筑波事業所）の項に含めています。	製品開発におけるエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量などを表します。 ▶P20～21							
	エネルギーの使用量				CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)	1,331	1,409	106
	電気 (万kWh/年)	236	250	106	電気 (t-CO ₂ /年)	1,310	1,388	106
	LPG (t)	7	7	100	LPG (t-CO ₂ /年)	21	21	100
	水の使用量 (m ³)	3,209	2,640	82	排水量 (m ³)	3,209	2,640	82
					廃棄物排出量*1 (t)	103	99	96
					再資源化量*2 (t)	98	92	94
					その他*3 (t)	4	6	150
					埋立最終処分量*4 (t)	1	1	100
	生産 【集計範囲】 筑波事業所（開発技術センター除く）、 宇部事業所、霞ヶ浦事業所	2006年度に生産した主要製品*5への材料投入量とエネルギー使用量およびCO ₂ 排出量、 廃棄物排出量などを表します。 ▶P23～25						
エネルギーの使用量					CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)	4,255	4,204	99
電気 (万kWh/年)		665	652	98	電気 (t-CO ₂ /年)	3,691	3,619	98
LPG (t)		49	55	112	LPG (t-CO ₂ /年)	147	165	112
A重油 (kl)		154	155	101	A重油 (t-CO ₂ /年)	417	420	101
水の使用量 (m ³)		38,412	37,911	99	排水量 (m ³)	25,027	24,720	99
金属 (t)		2,104	2,319	110	蒸気放散・散水その他 (m ³)	9611	8,300	86
プラスチック (t)		1,655	1,651	100	製品*5 (t)	15,240	16,474	108
ガラス (t)		36	39	108				
紙 (t)		3,274	3,170	97				
その他 (t)		4,397	4,404	100				
小計		49,878	49,494	99	小計	49,878	49,494	99
PRTR物質 (t)		2.8	2.6	93	PRTR物質の大気への排出量 (kg)	169	12	7
					PRTR物質の水域への排出量 (kg)	0	0	
					PRTR物質の土壌への排出量 (kg)	3	2	67
					PRTR物質の廃棄物への移動量 (kg)	18	36	200
				廃棄物排出量*1 (t)	1,056	1,128	107	
				再資源化量*2 (t)	827	1,023	124	
				その他*3 (t)	202	75	37	
				埋立最終処分量*4 (t)	27	30	111	
販売 【集計範囲】 国内営業拠点および子会社	お客様への販売活動や保守サービス活動などに際して使用する車両の燃料、 CO ₂ 排出量を算出しています。 ▶P26～27							
	エネルギーの使用量				CO ₂ 排出量 (t-CO ₂ /年)			
	ガソリン (kl)	528	538	102	ガソリン (t-CO ₂ /年)	1,223	1,223	102
	輸送業者への委託貨物輸送量*6 委託貨物輸送量 (万t・km)	1,321	1,305	99	委託貨物輸送量 (t-CO ₂ /年)	2,288	2,209	97
回収・リユース・リサイクル 【集計範囲】 日本国内の使用済み製品	使用済みとなった製品の回収量およびリユース、リサイクル量を表します。 なお、回収した製品の有効利用を進めていますが、一部埋立処分も行っています。 ▶P28							
	回収量 (t)	2,417	2,443	101	廃棄物排出量*1 (t)	2,417	2,443	101
					再生投入量*7 (t)	469	439	94
					再資源化量*2 (t)	1,734	1,892	109
					その他*3 (t)	0	0	—
					埋立最終処分量*4 (t)	214	112	52

*1 廃棄物排出量:当社では、有価物や再資源化されるもの、リユースされるものを含めて工程から不要物として排出されるもの全てを廃棄物としています。

*2 再資源化量:再資源化された量および熱を得る利用(サーマルリサイクル)量で有価物をふくめた合計量で、工程に再投入される量は除く。

*3 廃棄物排出量内訳のその他:再資源化処理や焼却処分でのガスとしての放出量など。

*4 埋立最終処分量:埋立処分される量。再資源化処理などの中間処理で発生する残渣、焼却灰で埋立処理される量を含む。

*5 主要製品:今年度より生産量が増加してきている高速カラープリンター「HCシリーズ」を2006年度に選んで集計範囲に加えました。

*6 輸送業者への委託貨物輸送量およびそれに伴うCO₂排出量は経年比較できるようになったため2006年度に選んで追加しました。

*7 再生投入量:再資源化処理されたもののうち原材料として工程に再投入される量です。